

男子 2位で折り返し

バスケットボール関東リーグ戦



▲ 対筑波大戦でシュートを放つ波多野和也(撮影・田頭美和子)



▲ 対松蔭大戦で関布紗子のシュート(撮影・久我)

男子

9月11日から代々木第2体育館で、関東大学バスケットボール連盟創立80周年記念大会・男子リーグ戦が行われている。

関カレでは圧倒的な強さを見せたつけた専大だったが、初戦で昇格したばかりの慶応大にまさかの敗戦。しかし、この試合を機にチームの集中力も高まり、前半戦を7勝1敗の首位で折り返した。チーム一丸となって突き進む専大。目標は当然優勝。インカレでの復権を目指す上でも、もう負けられない。

(松本 旬平・経済2)

女子

関東女子大学バスケットボールリーグ戦が9月4日から代々木第2体育館ほかで始まった。連覇を狙う専大だが、10月4日現在、6勝4敗の3位と、厳しい状況に立たされている。

持ち前のスピーディーなバスケットで開幕から5連勝とすばらしいスタートを切った。しかし、9月19日の東京女子体育大戦から3連敗。続く松蔭大戦に快勝し、再び上昇気流に乗ると思われたが翌日の試合で敗れ、思うように勝ち星を積み重ねられずにいる。

(久我 智也・文2)

【ニュース専修2004年10月号15面】

今林が個人戦3位 団体もベスト8に

相撲 全国選抜大学・実業団刈谷大会



▲個人戦で3位に入賞した今林(右から2人目)

9月12日、全国選抜大学・実業団相撲刈谷大会が愛知県の刈谷市体育館で行われ、今林弘一郎(商4・加茂水産高)が個人戦3位入賞。また、団体戦でもベスト8入りした。

手強い社会人を相手に「何も考えずに集中して試合に臨んだ」と語った今林。”今年が最後の年”と意気込む彼の今後に期待が高まる。

18、19日には、東日本学生リーグ戦が靖国神社で行われ、6戦全勝で見事2部リーグ優勝に輝いた。しかし、大東大との入れ替え戦で敗れ、1部昇格を逃した。11月6、7日、全国学生相撲選手権が控えている。ぜひ今回の悔しさをぶつけ、上位入賞を果たしてほしい。(中川 泉穂・文1)

【ニュース専修2004年10月号15面】

女子フルーレ団体優勝 1年次生が高レベル

フェンシング・関東学生新人戦

新人戦が、9月23、24日に駒沢屋内球技場で行われ、女子フルーレ団体で優勝を飾った。

個人では、佐々木智子(経済1・八千代西高)がフルーレとエペで4位。男子は、フルーレ団体で4位、個人では坂本遼輔(商1・翔陽高)がフルーレで4位入賞を果たした。

実力の片鱗を示した1年次生たち。今後のさらなる飛躍に期待したい。
(矢口 蘭・文2)

【ニュース専修2004年10月号15面】

開幕連勝 好スタート

ラグビー関東大学リーグ戦<2部>



▲対国際武道大戦で果敢に敵陣突破を図る工藤祥司＝中央(撮影・久我)

関東大学ラグビーリーグ戦(2部)が開幕し、専大は開幕2連勝と幸先の良いスタートを切った。

初戦は9月26日に専大伊勢原グラウンドで国際武道大と対戦し60-10で勝利。続いて10月3日、同グラウンドで防衛大と対戦。雨風の悪天候の中、前半9トライ、後半8トライを挙げ、99-0で完勝した。

(矢口 蘭・文2)

【ニュース専修2004年10月号15面】

木村・梨木ペアが3位 団体もベスト8入り

バドミントン・東日本学生女子



▲3位入賞を喜ぶ木村(右)と梨木の1年次生ペア

8月30日から9月5日まで、第47回東日本学生女子バドミントン選手権が、北海道立総合体育センターで行われた。ダブルスで木村綾(経営1・金沢向陽高)・梨木春花(商1・金沢向陽高)ペアが3位入賞に輝き、団体でもベスト8入りを果たした。

梨木は「不安も緊張もありましたが、お互いに普段以上の力を出すことが出来た。入賞出来てうれしい」と話した。成瀬誠監督も期待をかける1年次生コンビ。今後の大会に向けて弾みをつける大きな活躍だった。

そして、9月18日から26日まで日体大健志台米本記念体育館で、関東大学バドミントン秋季リーグ戦が行われた。初戦から自分たちのペースをつかめずに苦戦が続いたが、最終戦では意地を見せ、筑波大に3-1で勝利。1勝4敗の5位となった。(松本 旬平・経済2)

【ニュース専修2004年10月号15面】

男子3位に 来期へ向け確かな成長

ゴルフ・秋季Aブロックリーグ戦



▲好成績を収めたゴルフ部

関東大学ゴルフ秋季Aブロックリーグ戦が9月14日から18日まで、棚倉田舎倶楽部で行われ、3位の好成績を収めた。

1チーム8人のマッチプレー方式で争われた今大会。順調に勝ち点を積み、迎えた最終日の日体大戦も全員が気迫のプレーを見せ、シングルスで全勝し、3位を決めた。

「優勝を狙っていた」と話す西村和也主将(文4・多摩高)。しかし、チームの確かな成長に「この成績を来季へつなげたい」と語った。

(伊東 明希・文2)

【ニュース専修2004年10月号15面】

日本代表は7位

ローラーホッケー 世界女子選手権



▲国際大会に出場した右から庄部長、森川、浜住さん、初瀬コーチ

ローラースケート部の庄菊博部長(法学部教授)、初瀬文武コーチ(平3法)、浜住景子さん(平13法)、森川友紀子(文4・橋本高)が日本女子代表として参加した第7回世界女子ローラーホッケー選手権(9月19～25日、ドイツ・ヴッパータル市)。日本は両選手の健闘で、全15チーム中7位となった。

【ニュース専修2004年10月号15面】